

【自由意見の内容】

(調査票回収期間 平成29年3月1日～3月9日)

景況調査票の自由意見欄に271通の貴重なご意見をいただきました。

ご多用中にもかかわらずご記入をいただき、感謝申し上げます。

分類項目	意見数
1. 経済・景気動向	114
2. 業界の動向	79
3. 顧客・得意先	58
4. 為替	23
5. 金融・資金繰り	23
6. 売上・収益	72
7. 物価変動	3
8. 消費税	24
9. 人材の確保・育成	51
10. その他	26
計(複数回答)	473

以下に、それぞれの特徴的な意見を掲載させていただきます。

なお、掲載にあたり、若干の加筆・修正を加えています。

1. 経済・景気動向について

- プレミアムフライデーはなぜ、確定申告時期の2月末や年度末といった時期にやっているのだろうか。(貴金属・宝石製造業)
- 建築関係が極めて悪い。災害地の復興需要、オリンピック需要を感じられない。(化学工業)
- 業況はやや上向きだが、資材は値上がり傾向だ。(鉄鋼・非鉄金属製造業)
- 内需品の動きは良くなく、値引き要求ばかりある。(金属被覆・熱処理製造業)
- 年度末であるにもかかわらず、一向に景況感が良くならない。(電設資材卸売業)

- プレミアムフライデーなど休暇が増加すると、その分の売上確保が大変だ。実労働時間内での効率良い働き方の検討が必要だ。(ゴム・プラスチック卸売業)
- インバウンドの効果が薄れてきた。(雑貨・身の回り品小売業)
- 消費購買が弱く、この先の見通しが悪い。(家庭用品・他什器小売業)
- 一部の経済状況の良い人と、多数の悪い人で、格差が広がりつつあると感じる。(家庭用品・他什器小売業)
- 景気は変わらないので、自力で得意分野に投資し、成長していくことが大切だと感じる。(出版業)
- プレミアムフライデーで午後3時に開店したが、午後5時までの来店客数はわずか2名だった。(酒場・ビアホール)

2. 業界の動向について

- 中国製造であった製品の一部分が国内回帰している。ただし、今後は再度海外製造となることも考えられる。当社はすべて国内生産であり、業界動向に不安を感じる。(下着その他繊維製品製造業)
- 仕事量が減少している。(印刷業)
- 紙媒体の減少で、業界が縮小している。高価な機械を導入したが心配だ。(製版業)
- 原材料が大幅な品薄状態であり、仕入価格は上昇しているものの、販売価格への転嫁が困難な状況だ。(鉄鋼・非鉄金属製造業)
- 圏央道の開通により、ものづくりの生産拠点が変化している。(金属被覆・熱処理製造業)
- 価格優先の今日、ハンドメイドオーダーのような手間を掛けた商品は好まれないのだろうか。(男子服小売業)
- 金物・荒物業界は、国産品の減少、品質の低下、低価格化により利益が減少して業界全体が縮小し、小売店の多くが閉鎖している。(家庭用品・他什器小売業)
- 大型販売店が増えて、修理が増えているものの、販売の売上げは伸び悩んでいる。(自転車小売業)
- 大手広告代理店や企業がホールディングス化などグループ化しており、グループ外に仕事を依頼しなくなった。(その他情報通信業)

- 平成28年産米は豊作で、消費量も減少しているため、米余りとなった。米穀業界は利益が減少し設備投資が少ないため、精米機業界も年々厳しくなっている。
(機械修理業)
- 相次ぐホテル開業で供給過剰になっており、オリンピック開催前にして既に不景気感がある。
(宿泊業)

3. 顧客・得意先について

- 車載向け設備の受注が増加している。
(産業用機械製造業)
- 顧客が、原材料価格の高騰による価格転嫁になかなか応じてくれない。
(自動車・同附属品製造業)
- 取引先がギリギリまで発注してくれないので、納期が厳しい。(電気計測器製造業)
- 富裕層と貧困層に分かれて中間層が少なくなり、全体の需要は減少しているように感じる。
(靴・履物卸売業)
- 個人消費が低迷している。
(かばん・袋物卸売業)
- 銀座の飲食店が主な顧客だが、来店客数が減っている。
(酒類・飲料卸売業)
- 昨年12月～今年2月、今まで経験ない程売上げが停滞している。顧客の購買意欲が感じられない。
(男子服小売業)
- 来店客数が極端に減少。消費に対して消極的だ。
(婦人服小売業)
- 顧客の生活の仕方が変わってきた。必要な品物は安くなくても購入する。一方で、値引きで売るのは難しくなっている。
(靴・履物小売業)
- 米がふるさと納税返礼品での人気商品であるため、消費地では販売不振だ。
(米穀類小売業)
- 消費が低迷している。値引き競争、ポイントサービス、送料無料など過当競争で、小売業にとっては利益の出ない状況だ。
(スポーツ用品小売業)
- 得意先からの発注が多少増えてきているが、まだ作業量としては不足だ。
(機械設計業)
- 消費の低迷が続く。顧客の掃除商品離れを強く感じる。
(リネンサプライ業)

- 新規顧客の獲得を継続しているため、売上高減少は少額にとどまっているが、消費者の節約志向に影響されている。新商品の開拓と販路増進を力強く進める以外に道はない。
(リネンサプライ業)

4. 為替について

- 円安は原材料高になるため、困る。
(特殊印刷業)
- 為替の乱高下が激しく、業績への影響が多大だ。
(がん具・事務用品製造業)
- 為替が不安定で値段が定まらず、価格設定が難しい。
(男子服小売業)
- 中国からの輸入品が多いため、為替の動きが心配だ。
(子供服小売業)
- 価格の変動幅が大きく、新規商売がやりにくい。
(リネンサプライ業)

5. 金融・資金繰りについて

- 資金繰りが厳しい。
(はん用機械製造業)
- 売上げの少ない時期に利益を使ってしまうので、借入金が増えない。事業承継に向け、資金繰りを良くしたい。
(金型製造業)
- 売上げの状況が良くなく、資金繰りが大変だ。
(紙・紙製品卸売業)
- 売上げは順調だが、回収が予定どおりではなく、資金繰りに苦労している。
(木材・他建築材料卸売業)

6. 売上・収益について

- 2月中は納期が重なることが多く、注文を断ることもあった。3月中旬までの注文はあるが、4月以降が心配だ。
(家具製造業)
- 売上げが停滞している。最終製品の価格は上がっても、当社の販売価格は上がっていないのが現状だ。
(洋食器・刃物・金物製造業)
- 年度末の影響か、2・3月は比較的良好。控えめだった広告にも力を入れ、新製品の販売により売上増となるようがんばっている。
(情報通信機器製造業)
- 不況で売上げが減り、先行きの見通しが立たない。あまりにも小売店で衣料品が売れていない。
(婦人・子供服卸売業)

- 最近、高級マンションのリフォーム事業が活発化してきた。売上げの伸長が期待される。(木材・他建築材料卸売業)
- 業績は好調で、先行きも9月までは見通せており、明るい。(ゴム・プラスチック卸売業)
- 売上・収益ともに微増傾向だが、商品生産が減少傾向であるため、価格が高くなり、値上げできるか心配だ。(燃料小売業)
- 景気が良くなると、消費にお金がまわらない。家具・インテリアといった関係業界にまでお金をまわす人がおらず、先細りだ。(家具・インテリア小売業)
- 売上・収益ともにここ数年停滞している。(建築設計業)
- 不動産物件が動かないので、仲介手数料が減少している。(不動産取引業)

7. 物価変動について

- 鶏肉価格が高騰している。(食肉卸売業)
- 昨年商品単価が10%上がり、売上げが減少した。借地代、ガソリン代、灯油代なども上がっており、負担増加となっている。(菓子・パン類卸売業)
- 原材料価格が上昇している。(ボルト・ナット・ねじ卸売業)

8. 消費税について

- 売上高が減少しており、立て直すためには、消費税の廃止、その他の減税が必要だ。(工業用プラスチック製造業)
- 昨年秋冬より売上げが一段と厳しくなっており、価格の高い商品が店頭で売れていない。消費税率が8%となった影響が、昨年秋頃から出てきている。(婦人・子供服卸売業)
- 消費税を見直してほしい。10%増税は負担だ。(食肉小売業)
- 個人消費上昇のためには、行政改革と減税が必須だ。(計量・非破壊検査業)
- 消費税増税に合わせてソフトの更新があるので、開始時期が気になる。(計量・非破壊検査業)

9. 人材の確保・育成について

- 生産現場での人員確保が難しくなってきた。(ニット製衣服製造業)
- 人材不足が本格化してきた。(自動車・同附属品製造業)
- ハローワークに求人を出しても応募が全くない。人材確保は死活問題となる。(装身具・身の回り品卸売業)
- 同業者、得意先の飲食店でも特にここ半年間、人手不足の話がよく出る。共通しているのは、低賃金・長時間労働。これをクリアしていかないと長期間働いてくれない。(食肉卸売業)
- 若い世代の育成方法が課題である。(自動車・自動車部品卸売業)
- 現在は縫製加工職人の確保はできているが、次世代の職人確保のめどは全く立っていない。(男子服小売業)
- 残業時間の問題があるが、アルバイト・パート従業員の一部は、残業時間を制限されると生活できないと言っている。(コンビニエンスストア)
- 子育てや介護への配慮が求められているが、配慮すると他の人員にしわ寄せがいくことになり、対応が難しい。(運輸附带サービス業)
- 単純作業労働の求人が難しい。最低賃金の上昇は、経営に大きな影響がある。また、中堅・若手の育成手法に悩んでいる。(駐車場業)
- ドライバーが不足している。(廃棄物処理業)
- 電気工事などある程度の知識が必要であり、携わりたいという人材が少なく、確保が困難だ。(広告・ディスプレイ業)

10. その他

- 経営者が高齢であるため、廃業時期を模索中である。(呉服・服地・寝具小売業)